

3

A long time ago, there lived an old man.

His household was not wealthy, however, he visited the small shrine of the God of the Mountain with offerings and prayers everyday.

One day, the old man was praying in the shrine of God of the Mountain as usual, then he heard a mysterious voice from nowhere.

“You are very faithful. I will grant you with some goods.”

Then, something had landed gently onto the old man’s head.



5

“It’s called ‘The Magical Listening Hood’, if you wear it, you will be able to understand the language of birds and animals. Use it conveniently to help others.”

“Yes God, thank you so much!”

The old man deeply bowed to the God and walked back to his home.



むかし むかし、あるところに、
ひとりの おじいさんが いました。
いえは ゆうふくでは ありませんでしたが、
おじいさんは まいにち おそなえものを もって、
やまの かみさまの ほこらに
おまいりに かよっていました。

あるひ、おじいさんが いつものように、
やまの かみさまの ほこらで おいのりを していると、
とつぜん ふしぎな こえが きこえてきました。

『おまえは とても しんじんぶかい。
そんな おまえに、よいものを さずけよう』

すると、おじいさんの あたまの うえに、
なにかが ぱさりと おちてきました。



『それは【ききみみずきん】といって、それを かぶると、
とりや けものの ことばが わかるように なるのだ。
それを つかって、ひとびとの ためになるような ことを
しなさい』

「はい かみさま、ありがとうございます！」

おじいさんは かみさまに ふかく おじぎをして、
いえに かえっていきました。

